平成22年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年～目標年	事業進捗状況 総事業費	事業進捗状況 進捗率	事業進捗状況 うち工事費	事業進捗状況 進捗率	事業進捗状況 うち用地費	進捗率	事業進捗内容	事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等	対応方針	事業方針概要
森林整備事業（林道事業）	1	波留相津線	松阪市	④	【全体事業概要】 延長：5，838m 【事業目的】 路網が未整備な旧飯南町西部に位置する森林の骨格的な林道として開設を行い、持続的且つ計画的な森林の整備や生産性及び公益的機能の向上を図ることを目的とする。	H10～H27	1,695 1,695 0	91.1% 91.1% 0%					延長：4，247m	・松阪市では、平成１８年度を始期とする総合計画を樹立し、「林業基盤の整備」、「担い手の育成」、「林業の経営安定の推進」、「森林の公益的機能の推進」を施策内容として、林業の振興のため取り組むこととしており、その一環として「生産林活性化モデル事業」が実施されている。 ・松阪コンビナートにおけるスギ・ヒノキの取扱量及び平均価格を平成１７年度と平成２１年度で比較すると、取扱量・平均価格とも約2割減少している。	【費用便益分析結果】 Ｂ／Ｃ＝23.0億円／21.1億円＝1.09 【コスト縮減】 波形線形の計画や、流用土が活用でき残土の低減が図れる補強土壁工の採用及び路肩の縮減の実施により、コスト縮減を図る。 【代替案の可能性】 当路線の利用区域内の森林整備を図る必要があることから、当林道を開設する以外に代替案はない。	延長：1,591m 事業費：150百万円	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 なお、三重の林業活性化を目的とした総合的な施策、特に担い手の育成を更に推進されたい。	継続	持続的な林業経営を確立し林業を活性化するためには、骨格となる林道やその支線となる作業道・作業路により形成する林内路網を充実することによって林業生産性を向上するとともに、林業生産活動を担う林業経営体や林業従事者などの育成を推進する必要があります。 また、林道事業に係る事業評価の手法について、よりわかりやすく適正な評価が行えるよう、改善が必要です。 国では「木材自給率50%」を目指す森林・林業再生プランに基づき、平成23年度からの具体的な推進策として、森林の団地化・施業の集約化や路網整備の推進などが示されています。 本県においては、これまでにも林業を活性化するために、森林の育成から木材の利活用まで幅広い取組や支援を行っていますが、平成21年度から取り組んでいる森林の団地化・施業の集約化を推進する上でも基盤となる、適正で効率的な林内路網を形成するために、県営により骨格となる林道を整備するとともに、市町や林業事業体等による中小規模の林道や作業道などの整備への支援を行います。 また、林業の担い手の育成については、子どもたちが森林・木材にふれあい学ぶ機会の提供、高校生を対象とした林業の職場体験学習の開催、新規就労者の指導者を養成するOJT研修の実施および農林水産支援センターが実施する技能研修への支援や就業フェアへの協力などにより、後継者や中核となる林業事業体等の育成を更に推進します。 林道事業の事業評価は、林野庁の定める「林野公共事業における事前評価マニュアル」に基づき計算を行っており、便益の種類や計算方法等の改善点について、林野庁に提案・要望を行っていきます。

平成22年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年～目標年	事業進捗状況 総事業費 / うち工事費 / うち用地費	進捗率	事業進捗内容	事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等	対応方針	事業方針概要
下水道事業	3	中勢沿岸流域下水道（雲出川左岸処理区）	津市	④	【全体事業概要】 計画区域面積 :3,907.2ha（うち、津市3,907.2 ha） 計画処理人口 :119,300人（うち、津市119,300人） 流域幹線延長 :12.7km 中継ポンプ場 :1箇所 処理能力 :71,320m3/日 終末処理場 :1箇所	S56～H55	199,447（流域下水道:45,966）（流域関連公共下水道:153,481）	49.9%（流域:73.1%）（流関:42.9%）	【整備済み】 （流域下水道） ・処理能力:40,220 m3/日 ・ポンプ場:1箇所 ・幹線管渠延長: 12.7 km （流域関連公共下水道） ・計画区域:1,694.8 ha 【残計画】 （流域下水道） ・処理能力:31,100 m3/日 （流域関連公共下水道） ・計画区域:2,212.4 ha	少子高齢化の影響により、人口が減少傾向になっている。	【費用効果分析結果】 C（費用）＝238,197百万円、B（便益）＝401,592百万円、B／C＝1.69 【コスト縮減】 計画の策定及び工事の実施にあたっては以下のようなコスト縮減の取り組みを行ってきた。今後も更なるコスト縮減策に努めたい。 （具体的事例） ・計画・設計の見直し（一部区域を松阪処理区へ編入） ・再生材の活用（砕石、アスファルト合材） 【代替案】 汚水処理整備手法については、下水道や農業集落排水等の集合処理と、合併浄化槽の個別処理がある。 経済比較や地域の地形条件、集落の形成状況、社会情勢等を考慮したうえで選定を行った結果より、本処理区を下水道計画区域とした。	関連市の下水道整備の進捗に伴い増加する処理場への流入水量にあわせて段階的に処理施設の増設を行う。 H55年度の完成を見込んでいる。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 ただし、下記の意見を付するものである。 下水道事業においては、他機関・他部署からのデータ取得を含め、処理水の生態系に及ぼす影響についても厳密に調査されたい。	継続	近年の人口減少や高齢化などの社会情勢の変化に対応するため、より一層の効率的な整備を進める必要があります。また、処理水による環境への影響については、引き続き状況を把握していく必要があります。 流域下水道事業の効果の発現のため、関連市町との連携を密にし、人口減少等社会情勢の変化に対応した計画となるよう定期的に見直しを進めることで、効率的な整備を行い、下水道事業の推進を図っていきます。また、各処理区の周辺海域等で継続して行っている環境調査の内容を再度チェックし、処理水の生態系に及ぼす影響についてわかりやすく説明できるものとなるように努めてまいります。
					【事業目的】 伊勢湾をはじめとする公共用水域の水質保全と汚水排除による生活環境の改善に資するものである。		194,963（流域下水道:41,567）（流域関連公共下水道:153,396）	48.8%（流域:70.3%）（流関:42.9%）							
							4,484（流域下水道:4,399）（流域関連公共下水道:85）	98.3%（流域:100%）（流関:8.2%）							

平成22年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年～目標年	事業進捗状況 総事業費 / うち工事費 / うち用地費	進捗率	事業進捗内容	事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等	対応方針	事業方針概要
下水道事業	4	中勢沿岸流域下水道（松阪処理区）	津市、松阪市、多気町	④	【全体事業概要】 計画区域面積：6,773.8ha （うち津市1,208.5ha、松阪市5,099.9ha、多気町465.4ha） 計画処理人口：171,070人 （うち津市25,880人、松阪市137,200人、多気町7,990人） 流域幹線延長：55.2km 中継ポンプ場：6箇所 処理能力　：93,600m3／日 終末処理場　：1箇所	H2～H78	333,002 （流域下水道：88,303） （流域関連公共下水道：244,699）	45.6% （流域：70.6%） （流関：36.6%）	【整備済み】 （流域下水道） 処理能力：30,400m3／日 ポンプ場：5箇所 幹線管渠延長：52.7km （流域関連公共下水道） 計画区域：2,440.6ha 【残計画】 （流域下水道） 処理能力：63,200m3／日 ポンプ場：1箇所 幹線管渠延長：2.5km （流域関連公共下水道） 計画区域：4,333.2ha	少子高齢化の影響により、人口が減少傾向になっている。	【費用効果分析結果】 C（費用）＝359,100百万円、B（便益）＝546,707百万円、B／C＝1.52 【コスト縮減】 計画の策定及び工事の実施にあたっては以下のようなコスト縮減の取り組みを行ってきた。今後も更なるコスト縮減策に努めたい。 （具体的事例） ・流域関連下水道計画の見直し（市町村合併に伴う管渠敷設ルートの見直し） ・再生材の活用（砕石、アスファルト合材） 【代替案】 汚水処理整備手法については、下水道や農業集落排水等の集合処理と、合併浄化槽の個別処理がある。 経済比較や地域の地形条件、集落の形成状況、社会情勢等を考慮したうえで選定を行った結果より、本処理区を下水道計画区域とした。	関連市町の下水道整備の進捗にあわせて幹線管渠の整備を行い、処理場への流入水量の増加にあわせて段階的に処理施設の増設を行う。H78年度の完成を見込んでいる。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 流域下水道事業の効果の発現のため、関連市町との連携を密にし、事業推進を図られたい。	継続	近年の人口減少や高齢化などの社会情勢の変化に対応するため、より一層の効率的な整備を進める必要があります。また、処理水による環境への影響については、引き続き状況を把握していく必要があります。 流域下水道事業の効果の発現のため、関連市町との連携を密にし、人口減少等社会情勢の変化に対応した計画となるよう定期的に見直しを進めることで、効率的な整備を行い、下水道事業の推進を図っていきます。また、各処理区の周辺海域等で継続して行っている環境調査の内容を再度チェックし、処理水の生態系に及ぼす影響についてわかりやすく説明できるものとなるように努めてまいります。
					【事業目的】 伊勢湾をはじめとする公共用水域の水質保全と汚水排除による生活環境の改善に資するものである。		330,987 （流域下水道：86,320） （流域関連公共下水道：244,667）	45.3% （流域：69.9%） （流関：36.6%）							
							2,015 （流域下水道1,983） （流域関連公共下水道32）	100% （流域：100%） （流関：100%）							

平成22年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年～目標年	事業進捗状況 総事業費 / うち工事費 / うち用地費	進捗率	事業進捗内容	事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等	対応方針	事業方針概要
下水道事業	5	宮川流域下水道（宮川処理区）	伊勢市、玉城町、明和町	④	【全体事業概要】 計画区域面積：4,674ha （うち伊勢市3,558ha，玉城町462ha，明和町654ha） 計画処理人口：139,830人 （うち伊勢市109,400人，玉城町13,110人，明和町17,320人） 流域幹線延長：46.7km 処理能力　：75,600m3/日 終末処理場　：1箇所	H10～H69	238,647 （流域下水道：84,724） （流域関連公共下水道：153,923）	41.6% （流域：46.7%，流関：38.8%）	【整備済み】 （流域下水道） 処理能力：13,400m3/日 幹線管渠延長：19.8km （流域関連公共下水道） 計画区域：1,539.2ha 【残計画】 （流域下水道） 処理能力：62,200m3/日 幹線管渠延長：26.9km （流域関連公共下水道） 計画区域：3134.8ha	少子高齢化の影響により、人口が減少傾向になっている。	【費用効果分析結果】 C（費用）＝243,206百万円、B（便益）＝291,788百万円、B／C＝1.20 【コスト縮減】 計画の策定及び工事の実施にあたっては以下のようなコスト縮減の取り組みを行ってきた。 今後も更なるコスト縮減策に努めたい。 （具体的事例） ・新技術（長距離推進工法）の採用による立坑の削減 ・再生材の活用（砕石、アスファルト合材） 【代替案】 汚水処理整備手法については、下水道や農業集落排水等の集合処理と、合併浄化槽の個別処理がある。 経済比較や地域の地形条件、集落の形成状況、社会情勢等を考慮したうえで選定を行った結果より、本処理区を下水道計画区域とした。	関連市町の下水道整備の進捗にあわせて幹線管渠の整備を行い、処理場への流入水量の増加にあわせて段階的に処理施設の増設を行う。H69年度の完成を見込んでいる。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 ただし、下記の意見を付するものである。 下水道事業においては、他機関・他部署からのデータ取得を含め、処理水の生態系に及ぼす影響についても厳密に調査されたい。	継続	近年の人口減少や高齢化などの社会情勢の変化に対応するため、より一層の効率的な整備を進める必要があります。また、処理水による環境への影響については、引き続き状況を把握していく必要があります。 流域下水道事業の効果の発現のため、関連市町との連携を密にし、人口減少等社会情勢の変化に対応した計画となるよう定期的に見直しを進めることで、効率的な整備を行い、下水道事業の推進を図っていきます。また、各処理区の周辺海域等で継続して行っている環境調査の内容を再度チェックし、処理水の生態系に及ぼす影響についてわかりやすく説明できるものとなるように努めてまいります。
					【事業目的】 伊勢湾をはじめとする公共用水域の水質保全と汚水排除による生活環境の改善に資するものである。		233,906 （流域下水道：80,402） （流域関連公共下水道：153,504）	40.4% （流域：43.9%，流関：38.6%）							
							4,741 （流域下水道：4,322） （流域関連公共下水道：419）	99.8% （流域：99.8%，流関：100%）							

平成22年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年～目標年	事業進捗状況 総事業費	事業進捗状況 進捗率	事業進捗状況 うち工事費	事業進捗状況 進捗率	事業進捗状況 うち用地費	事業進捗状況 進捗率	事業進捗内容	事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等	対応方針	事業方針概要
道路事業	6	一般国道１６７号（第二伊勢道路）	伊勢市～鳥羽市	③	【全体事業概要】 延長　L＝7，600m 幅員　W＝6．5（8．5）m 主要構造物 トンネル　4本 橋梁　　5橋 松下ジャンクション 鳥羽白木インターチェンジ 【事業目的】 国道167号、県道伊勢磯部線の交通渋滞を解消し、安全で円滑な交通の確保を図ります。	H8～H24	29,702	73%					整備済延長 L=3，840m 主要構造物（整備済） トンネル　3本 橋梁　　5橋 主要構造物（施工中） 松下ジャンクション 鳥羽白木ｲﾝﾀｰﾁｪﾝｼﾞ トンネル　1本	伊勢市と志摩地域を結ぶ主要な道路である一般国道167号と県道伊勢磯辺線は、休日や観光シーズンに鳥羽市街地と宇治浦田町交差点部における渋滞が続いており、当該事業の必要性に変化はありません。 また、県立志摩病院は、長年にわたり志摩地域の救急医療を担っていますが、医師数の減少により、平成21年3月から内科、平成22年7月から外科の救急体制が縮小され、志摩市内から伊勢市への救急搬送が増加しています。このことから、救急車両の円滑な通行のため、当該事業への期待が高まっています。	【費用対効果分析】 B／C＝2．4 【コスト縮減】 橋梁整備において、少数主桁の採用による建設コストの縮減や、耐候性鋼材の使用による維持管理コストの縮減を図っています。 【代替案の検討】 事業の進捗状況及び費用対効果分析結果から、代替案はありません。	平成24年度の全線供用に向け事業を推進します。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 ただし、当該道路は有料区間に接続するため、利用者に混乱を生じさせないよう対策を講じられたい。 なお、道路事業の費用効果分析においては、マニュアルに規定される便益だけでなく、観光・防災・救急救命等その他の効果について、背景も含めて説明をされたい。	継続	事業効果については、マニュアルに規定される便益だけでなく、観光・防災・救急救命等その他の効果もあることから、それら効果についても調査、把握する必要があります。なお、第5回三重県公共事業評価審査委員会では、その他の効果について、調査・把握し説明したところです。 一般国道167号第二伊勢道路は、有料区間に接続することなどから、利用者に混乱を生じさせないように、案内標識などの対策を行う必要があります。 事業効果については、観光・防災・救急救命等その他の効果について、背景も含めて調査、把握に努めます。 道路の案内については、利用者に混乱などを生じさせないよう案内標識の表示内容や設置位置などについて、関係機関と協議調整を行い、適切に対応いたします。
							26,952	72%											
							2,750	100%											

平成22年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年～目標年	事業進捗状況 総事業費	事業進捗状況 進捗率	事業進捗状況 うち工事費	事業進捗状況 進捗率	事業進捗状況 うち用地費	事業進捗状況 進捗率	事業進捗内容	事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等	対応方針	事業方針概要
道路事業	7	一般国道167号（鵜方磯部バイパス）	志摩市	③	【全体事業概要】 延長　L＝7，650m 幅員　W＝6．5(12．25)m 主要構造物 磯部トンネル 橋梁　5橋	S61～H27	13,346	83%					供用延長 L＝4，210m 主要構造物（整備済） 磯部トンネル 橋梁　3橋 主要構造物（施工中） 橋梁　2橋	現道は、朝夕、休日や観光シーズンに志摩市市街地における渋滞が続いており、当該事業の必要性に変化はありません。 また、県立志摩病院は、長年にわたり志摩地域の救急医療を担っていますが、医師数の減少により、平成21年3月から内科、平成22年7月から外科の救急体制が縮小され、志摩市内から伊勢市への救急搬送が増加しています。このことから、救急車両の円滑な通行のため、当該事業への期待が高まっています。	【費用対効果分析】 B／C＝3．0 【コスト縮減の可能性】 橋梁整備において、少数主桁の採用による建設コストの縮減を図っています。 また、切土法面の法尻部にコンクリート張工を施工し、除草に要する維持管理コストの削減を図っています。 【代替案の検討】 事業の進捗状況及び費用対効果分析結果から、代替案はありません。	平成27年度の全線供用に向け事業を推進します。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 なお、道路事業の費用効果分析においては、マニュアルに規定される便益だけでなく、観光・防災・救急救命等その他の効果について、背景も含めて説明をされたい。	継続	事業効果については、マニュアルに規定される便益だけでなく、観光・防災・救命救急等その他の効果もあることから、それら効果についても調査、把握する必要があります。なお、第5回三重県公共事業評価審査委員会では、その他の効果について、調査・把握し説明したところです。 事業効果については、観光・防災・救急救命等その他の効果について、背景も含めて調査、把握に努めます。
					【事業目的】 志摩市市街地の交通渋滞を解消し、安全で円滑な交通の確保を図ります。		9,227	77%											
							4,119	97%											

平成22年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年～目標年	事業進捗状況 総事業費	事業進捗状況 進捗率	事業進捗状況 うち工事費	事業進捗状況 進捗率	事業進捗状況 うち用地費	進捗率	事業進捗内容	事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等	対応方針	事業方針概要
道路事業	8	一般国道３６８号（仁柿峠バイパス）	松阪市	③	【全体事業概要】 延長　L＝3，920m 幅員　W＝5．5（7．0）m 主要構造物 トンネル　1本 橋梁　　7橋 【事業目的】 事前交通規制を解消し、安全で円滑な交通の確保を図るとともに、緊急輸送道路としての機能強化を図ります。	H2～H32	9,000	49%	8,650	48%	350	74%	整備済延長 L＝1，760m うち供用済延長 L＝380m 主要構造物 （整備済） 橋梁　　3橋	当該路線は、伊賀地域と中勢地域を最短で結ぶ道路であり、緊急輸送道路の指定を受けていることなどから、当該事業の必要性に変化はありません。	【費用対効果分析】 B／C＝1．3 【コスト縮減】 橋梁整備において、耐候性鋼材の使用による維持管理コスト縮減を図っています。 また、切土法面の法尻部分にコンクリート吹付を施工し、除草に要する維持管理コストの縮減を図っています。 【代替案の検討】 事業の進捗状況及び費用対効果分析結果から、代替案はありません。	平成32年度の全線供用に向け事業を推進します。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 ただし、残事業の早期完成にむけて、計画的で効率的な事業執行を求めるものである。 なお、交通量推計について、より現実的でわかりやすい説明をされたい。	継続	今回の再評価対象事業は、道幅が狭く線形も悪いことや通行止めとなっているなど、安全で円滑な通行の支障を解消しようとするものであることから、早期に整備が必要です。 将来交通量については、わかりやすい説明をする必要があります。 今後の事業執行については、引き続き市町や地元関係機関との連携を図り、早期完成に向けて計画的で効率的な事業執行に努めます。 将来交通量については、わかりやすい説明に努めます。

平成22年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年～目標年	事業進捗状況 総事業費	事業進捗状況 進捗率	事業進捗状況 うち工事費	事業進捗状況 進捗率	事業進捗状況 うち用地費	進捗率	事業進捗内容	事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等	対応方針	事業方針概要
道路事業	9	一般国道422号三田坂バイパス	伊賀市	③	【全体事業概要】 延長　L=5,100m 幅員　W=6.0(7.5)m 主要構造物 トンネル　1本 橋梁　8橋 【事業目的】 事前通行規制を解消し、安全で円滑な交通の確保を図ります。	H8～H29	10,900	34%	10,202	29%	698	99%	整備済延長 L=1,780m うち供用済延長 L=1,660m 主要構造物 （整備済） 橋梁　3橋 （整備中） 橋梁　2橋	当該路線は、伊賀市諏訪・丸柱地区から中学校や医療機関など生活関連施設のある伊賀市街地までを結ぶ路線であり、同地区の住民にとっては生活に欠かすことのできない重要な道路であることから、当該事業の必要性に変化はありません。 また、平成20年2月23日に新名神高速道路の亀山ジャンクションから草津ジャンクションの区間50kmが、開通しました。 これに伴い当路線は、伊賀市街地から新名神高速道路の信楽インターへ接続する道路としての役割を担います。	【費用対効果分析】 Ｂ／Ｃ＝１．２ 【コスト縮減】 鋼製橋梁上部工に耐候性鋼材を使用し、切土法面の法尻部分にコンクリートブロック張を施工することで、維持管理コストの縮減を図っています。 【代替案の検討】 事業の進捗状況及び費用対効果分析結果から、代替案はありません。	平成29年度の全線供用に向けて、事業を推進します。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 ただし、残事業の早期完成にむけて、計画的で効率的な事業執行を求めるものである。 なお、交通量推計について、より現実的でわかりやすい説明をされたい。	継続	今回の再評価対象事業は、道幅が狭く線形も悪いことや通行止めとなっているなど、安全で円滑な通行の支障を解消しようとするものであることから、早期に整備が必要です。 将来交通量については、わかりやすい説明をする必要があります。 今後の事業執行については、引き続き市町や地元関係機関との連携を図り、早期完成に向けて計画的で効率的な事業執行に努めます。 将来交通量については、わかりやすい説明に努めます。

平成22年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年～目標年	事業進捗状況 総事業費	事業進捗状況 進捗率	事業進捗状況 うち工事費	事業進捗状況 進捗率	事業進捗状況 うち用地費	事業進捗状況 進捗率	事業進捗内容	事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等	対応方針	事業方針概要
道路事業	10	一般国道422号 八知山拡幅	大台町	③	【全体事業概要】 延長　L＝850m 幅員　W＝5．5（7．0）m 主要構造物 トンネル　1本 橋梁　　1橋	H7～H25	2,010	37%					整備済延長 L＝400m うち供用済延長 L＝260m	当該路線は、大台町役場宮川総合支所、宮川小中学校、警察・消防、スーパーなどの生活関連施設や医療機関を結ぶ道路であり、同地区の住民にとっては、生活に欠かすことのできない重要な道路であることから、当該事業の必要性に変化はありません。 また、平成18年3月に近畿自動車道紀勢線の勢和多気JCT～大宮大台IC間が開通しました。これにより、キャンプ場や大杉谷渓谷の登山道等、大杉地区の自然豊かな観光資源へのアクセス性が向上し、大台町への観光客の増加が期待されています。当該道路の整備により、これらの観光地への利便性が一層向上することとなり、観光産業の支援に繋がるものと期待されています。	【費用対効果分析】 B／C＝1．1 【コスト縮減】 トンネル照明において、最新の照明器具の導入を検討し、建設コスト・維持管理コストの縮減に努めます。 【代替案の検討】 事業の進捗状況及び費用対効果分析結果から、代替案はありません。	平成25年度の全線供用に向け事業を推進します。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 ただし、残事業の早期完成にむけて、計画的で効率的な事業執行を求めるものである。 なお、交通量推計について、より現実的でわかりやすい説明をされたい。	継続	今回の再評価対象事業は、道幅が狭く線形も悪いことや通行止めとなっているなど、安全で円滑な通行の支障を解消しようとするものであることから、早期に整備が必要です。 将来交通量については、わかりやすい説明をする必要があります。 今後の事業執行については、引き続き市町や地元関係機関との連携を図り、早期完成に向けて計画的で効率的な事業執行に努めます。 将来交通量については、わかりやすい説明に努めます。
					【事業目的】 通行止区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を図るとともに、代替性をもった道路網の構築を図ります。		1,944	35%											
							66	97%											

平成22年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年～目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等	対応方針	事業方針概要
							総事業費	進捗率	事業進捗内容						
							うち工事費	進捗率							
							うち用地費	進捗率							
各部共通		総括意見											今後社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業に関して評価を行う場合は、最新のデータを使用されたい		社会経済情勢の急激な変化等により再評価を行う事業の評価にあたっては、自らの調査データのみならず、他で調査されたデータも用い分析を行っており、極力最新のデータを用いて分析を行うようにしています。 しかし、影響範囲が他県・市町にわたる場合などは、最新のデータを全て収集できないこともあり、分析するために必要なデータが不足することがあります。そのような場合には、他県・市町などと調整し、適切なデータの収集に努めるとともに、必要に応じて時点修正するなどの工夫を行いながら、評価に努めてまいります。

平成22年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年～目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等	対応方針	事業方針概要
							総事業費	進捗率	事業進捗内容						
							うち工事費	進捗率							
							うち用地費	進捗率							
各部共通		総括意見											環境に与える影響の評価については、対象地域に対する影響も考慮されたい。 また、環境に及ぼす事業の効果をわかりやすく説明するために、環境の時間的・空間的な変化に対応できるような調査を行い、十分な解析を行われたい。		公共用水域の水質保全と汚水排除による生活環境の改善を目的とする流域下水道事業の評価結果の説明において、処理水の水質改善について説明を行ったものの、排水される周辺地域に対する影響についての説明に一部わかりにくい点もありました。 今後は、各事業目的に即した効果等について対象地域に係るデータ等を整理するとともに、時間的・空間的な変化を把握することに努め、環境に及ぼす事業の効果についてわかりやすい説明を行います。